【管理運営状況公表様式】

平成22年度 青森県武道館の管理運営状況

県所管課	教育庁スポーツ健康課			
指定管理者	財団法人弘前市体育協会			
	会長 須藤 惇			
指定期間	平成 22 年 4 月 1 日~平成 23 年 3 月 31 日			

1 管理業務の実施状況

業務区分	概 要				
武道その他体育・スポー	・ 本県武道の一層の活性化及び振興を図るため、武道演武フェス				
ツの普及・振興に関する	ティバルを開催。				
業務	・ スポーツを通じ地域との交流を図るため、近隣の成人を対象に				
	したエクササイズ教室を開催。				
	・ 施設の認知度向上及び利用促進を図るため、青森県立・県営施				
	設と合同で「エイト BINGO スタンプラリー」を開催。				
	・ 県内の学生を対象に、競技力と知識の向上を図るため、ソウル				
	オリンピック銅メダリスト山本洋祐氏、全日本実業個人選手権				
	優勝の小川武志氏を講師に迎え柔道教室を開催。				
施設の維持管理業務	利用者の快適、かつ安全な利用を図るため、施設等を清潔に保				
	ち、さらにその機能を正常に保持するため、適正な管理と建築物				
	における法令に沿った保守点検等を実施。				
自主事業の実施	総合武道施設としての特色を活かすとともに、競技人口の増加				
	と競技力の向上を図り、武道振興の一助とするため、柔道、空手				
	道、少林寺拳法、剣道の武道教室を開催。				

2 管理施設の利用状況

利用指標	年 度	計画	実績	計画対比	前年度対比
利用者数(人)	H 1 7		235, 684	(指定前の実績)	
	H 1 8	未設定	232, 010		98.4%
	H 1 9		209, 812		90.4%
	H 2 0	214, 000	206, 864	96.7%	98.6%
	H 2 1	206, 000	203, 685	98.9%	98.5%
	H 2 2	200, 000	199, 844	99.9%	98.1%
使用料収入(円)	H 1 7		24, 309, 950	(指定前の実績)	
	H18	25, 400, 000	30, 434, 470	119.8%	125. 2%
	H 1 9	25, 900, 000	25, 670, 367	99.1%	84.3%
	H 2 0	26, 400, 000	24, 888, 755	94.3%	97.0%
	H 2 1	26, 892, 000	24, 120, 595	89.7%	96.9%
	H 2 2	25, 800, 000	24, 237, 965	94.0%	100.5%

【増減理由】

• 利用者数

2月現在において、当初目標数値を達成する見込みであったが、東北地方太平洋沖地震による臨時休館及び時間短縮開館措置で3月分が大幅に減数となったため。

(平成 21 年度 3 月利用者数 18,674 人 平成 22 年度 3 月利用者数 7,027 人)

• 使用料収入

主競技場における 10 月と補助競技場における 11 月の大会及びイベント数の減少と、12 月・1 月における宿泊者数の減少が当初目標額を下回る原因となった。また、利用者数未達成と同様に地震によって 3 月分が減収になったため。

(10 月主競技場前年比:-174,000 円 11 月補助競技場前年比:-306,930 円)

(12·1月合宿所前年比:-547,600円)

(3月使用料前年比:-1,119,935円)

3 評価結果

評価項目	指定管理	県所管課		
	者自己評 価	評価	コメント	
①サービスの維持・向上に 向けた取組みが適切に行 われているか。	A	В	有資格者を配置し、効率的なトレーニング方法 の指導を行うことや、利用者からの要望があれ ば開館時間を早める等サービスの向上に努め ている。	
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	ホームページや広報誌、新聞等の広報媒体を活用するとともに、パンフレットを作成し、県内の学校だけでなく、利用の見込まれる他県の学校へも配布し、利用の促進を図っている。	
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に 行われているか。	A	В	施設・設備の保守点検実施計画を基に、適時、 適切に保守点検を実施するとともに、備品の総 点検を実施するなど備品管理についても適切 になされている。	
④緊急時の対応・安全管理 などの危機管理が適切に 行われているか。	A	A	AED講習会を職員全員が受講し、緊急時に備えている。また、事故発生・災害発生時のマニュアルを作成し、常に危機管理についての配慮を行っている。	
⑤指定管理料が適正に執行 されているか。	A	В	使用料金収入については毎年度目標額に届いていなかったが、21年度と比較すると目標額に近づいている。また、経費の節減にも積極的に取り組んでいる。	
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	A	В	目標達成のために様々な手段で施設及びイベントの周知を図っているが、利用者数、使用料金収入は目標を達成できていない。	
⑦個人情報の保護に対する 体制の構築・取組みを行 っているか	A	A	県の規定に則り武道館での個人情報保護規定 を策定し、個人情報の保護に取り組んでいる。	
総合評価	A	В	使用料金収入については目標に達していないものの、管理は適正に為されており、ホームページや携帯サイトでの施設利用情報の提供を行い利用促進を図る等の努力により、優れた実績を上げている。	

○評価基準

A(優): 適正であり、優れた実績をあげている

B (良): 適正である

C (可): 概ね適正であるが、一部改善を要する

D (不可): 改善や更なる取組が必要